

ビニル床シート 注意事項

- 表面に凹凸がある防滑性シートは、凹部にワックスが溜まらないように、均一に薄く塗布して下さい。厚塗りすると防滑性が落ちますのでご注意下さい。屋外使用の場合は、樹脂ワックスは塗布できません。

※「NWシリーズ」はメンテナンス方法が異なります。
下記「NWシリーズ」メンテナンス情報をご参照下さい。

!

水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まないようにして下さい。持込まれた際には、即座に除去するようにして下さい。摩耗・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

NW

NWシリーズ

メンテナンスのご注意

- メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。
- 面積の大きな施設では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨いたします。
- ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。ただし、各機能性を重視する場合は、ワックスを塗布しないで下さい。

※抗菌性能のある製品に、ワックスメンテナンスを行う場合

施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。

- 屋外から直接土砂の持込みが想定される部位にお使いの際は、除塵マットの設置やワックスを塗布する定期メンテナンスが必要になる場合があります。

NW

NWシリーズ

メンテナンスのご注意

- 浴室でご使用の場合は、メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。スポンジ、デッキブラシ（ソフトタイプ）等で毎日汚れを取除いて下さい。
- 脱衣室などでご使用の場合は、施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後にツヤノンワックス（抗菌）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。

■ 使用上のご注意

- 長時間の直射日光による変退色、長期間使用しない室内での結露によるカビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突上げの可能性があります。日よけや換気を心がけて下さい。
- ルーフバルコニー等の下地で多く採用される「防水層＋押えコンクリート」は構造上、常に多量の水分を含むおそれがあります。シートの膨れや剥がれの原因となるため、施工はおすすめできません。
- 半屋外、屋内対応の製品は、長時間直射日光の暴露を受ける場所での使用は避けて下さい。
- 熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 温風ヒーター吹出口にはマットを設置するなどして、温風が直接シート表面に当たる事を避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。
- ビニル床材の上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご注意下さい。

- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、床材の表面にキズや膨れ、へこみ跡が生じる可能性があります。
- 建物の出入口には、必ず除塵マットを設置して下さい。（砂、砂利等で表面に傷がついてしまった場合、汚れが傷に入り込んでしまい、汚れ落ちが悪くなります。土砂の持込みの可能性がある路面に面した部位で使用される場合は、除塵性の高いマットをできるだけ広い面積で設置して下さい。）
- 長時間、水に濡れた状態が続くと白化する場合があります。
- 水拭き後長時間濡れた状態にしておくと、菌の増殖や臭いの原因になります。乾いたモップで拭取り、乾燥した状態でお使い下さい。

!

水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品・火山灰などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の膨れ・剥がれ・目地スキなどを招く場合があります。充分ご注意下さい。剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくると全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

- 光源により見え方が変わる事があります。ご注意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

NW

NWシリーズ

メンテナンスのご注意

● 施工前に必ず勾配を確認して下さい。

● 施工前に石鹸カスなどを充分除去しておいて下さい。

● 毛染め液、ある種のタオルなどに使われる染料で着色する場合があります。ご使用を控えるか、付着後すぐに洗い流して下さい。

● 施工終了後、一晩養生したのち入浴していただく事は可能です。2～3日間はシール部へのブラシ清掃はお避け下さい。また、大型浴室等でのキャストの往来は2～3日お控え下さい。

運搬ならびに保管上のご注意

- 荷下ろし時の落下による、耳部の損傷にご注意下さい。
- 重量物ですので、慎重に扱って下さい。また、器物等との接触にも配慮して下さい。
- 水漏れのない平坦な場所に保管して下さい。
- 縦置きの場合は、ロープ等で固定し、転倒防止を図って下さい。
- 横置き保管の場合は、俵積み避けて下さい。

ワックスメンテナンス早見表 ビニル床シート			
区分	製品名	頁	メンテナンス方法
ワックス メンテナ ンス 不要	ヒトエ グランザ	336	NW NWシリーズ メンテナンスのご注意 ● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題ははありません。ただし、各性能を重視する場合はワックスを塗布しないで下さい。 <ワックスメンテナンスを行う場合> 施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
	ヒトエ ファイン	338	
	フロアリューム ブレーンNW	340	
	フロアリューム マーブルNW	342	
	フロアリューム ソイルドNW	344	
	フロアリューム ウッドNW	346	
	フロアリューム モルタルNW	347	
	フロアリューム フレークNW	348	
	フロアリューム ラティスNW	349	
	フロアリューム ナッティNW	350	
	マチュアNW	351	
	ノンワックスリュームNW	358	
	ホスビリュームNW	362	
	SFフロアNW	366	
	ケアセーフNW	370	
	アリーナフィット	372	
	CF シート-P NW	380	
	NSブレーン NW	418	
	耐薬スーパー K シート NW	388	
	耐薬スーパー K シート エクセラ NW	389	
ワックスメン テナ ンス 非推 奨	NSリアルデザインNW	392	NW NWシリーズ メンテナンスのご注意 ● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスを塗布すると、耐薬性能等が変化する場合があります。機能性を重視する場合は、樹脂ワックスを塗布しないで下さい。 <ワックスメンテナンスを行う場合> 施工後、汚れを拭取り、シーバイエス社製ワックス用下地剤（スタンダードベース）を塗布後、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
	消臭NSTワレNW	415	
	TMフロア	425	
	NSシート NS800	396	
	東リNSステップ800	406	
	NSフラッティ	414	
	NSアクアトレッド	412	
	NSシート NS550 遮熱ガーデント	410	
	オペリューム	387	
	帯電防止フロアリューム	386	
	アースリューム	386	
	ニュースタンロード	391	
	ファクトリューム ケミ	390	
	CF シート-H	374	
	アンパンマン クッションフロア	379	
	CF シート-SD	385	
	バスナリアルデザイン	420	
	バスナフローレ	422	
	バスナアルティ	423	
その他	ラバナ	424	● 製造段階でワックスを塗布していますので、日常は固く絞った雑巾かモップの水拭き程度で充分です。 ● 浴室でご使用の場合は、メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。スポンジ、デッキブラシ等で毎日汚れを取除いて下さい。 ● 脱衣室などでご使用の場合は、施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後にツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。 ● 浴室ではメンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● スポンジで毎日汚れを取除いて下さい。